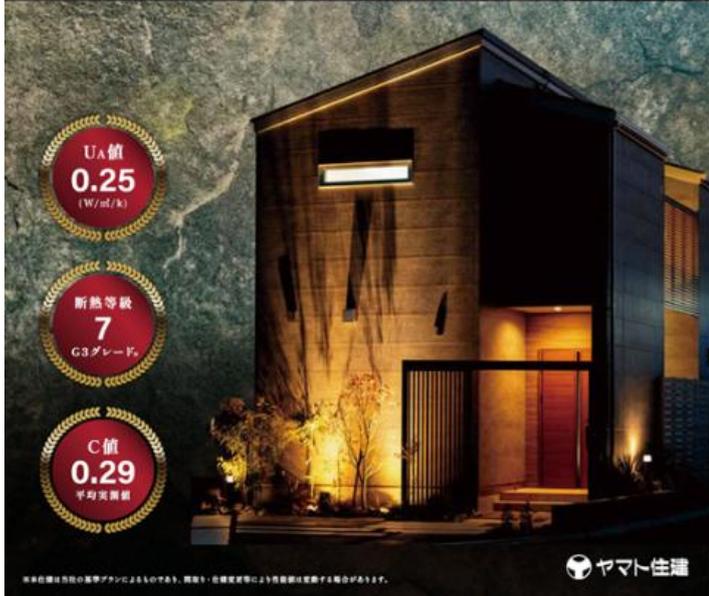


断熱等級 7・UA 値 0.25 の邸宅 新商品「エネージュ LEGANTIA」発売
-高性能な住宅に選べるプレミアムキッチンをプラス-

注文住宅を手がけるヤマト住建株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役:河本 佳樹、以下「ヤマト住建」)は、断熱等級7の新商品「エネージュLEGANTIA(レガントシア)」を発売しました。



受け継がれる価値、未来へ続く邸宅

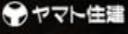
LEGANTIA

レガントシア

U値
0.25
(W/m²/k)

断熱等級
7
G3グレード

C値
0.29
平均実測値



健康・安心設備が標準搭載

普段の生活も、もしもの災害時にも家族を守る備え

No.1
繰り返しの地震に強い
真壁工法

真壁工法とは、柱と梁・土台の枠のフレームの中で構造用面材が交差して建物を支える工法。構造用面材が柱の外にある大壁工法は、地震の震に打ち付けた釘が曲がり耐力が低減するのに対して、フレーム内に構造用面材がある真壁工法は、度重なる地震でも面材自体が破損しにくいのが特徴です。つまり繰り返しの地震に耐えることができる工法といえます。



No.2
一体化した接合部
オール金物工法

木造住宅が耐える、地震による強い震動。これにより発生しやすかった、接合部の断面破壊やずれといった弱点を克服するため、私たちは新たな技術として柱と金物を一体化させる「特殊金物」を開発。従来の金物(継手)と比べ、斜めに高い接合強度を確保し、地震の安全性能を飛躍的に向上させています。これにより、大規模な地震にも耐えうる、より安心できる住まいを創ります。



No.3
地震から家を守る
制震ダンパー

お客様や家族の安全を守るため、ヤマト住建では「断熱等級3の構造」に「ダンパー」での制震性能を兼ね備えた家づくりをしています。evolveは建物の構造部材が揺れるように震動を起すことにより、必死「揺れ」を抑制し、安全(安心)した暮らしを創ります。

※断熱等級3の認定取得は、プラン・仕様計算によって取得できない場合があります。



No.4
超断熱3層
複層ガラス樹脂サッシ

夏は冬に比べ、夏に69.3%もの熱が出入りし、住宅の快適性を大きく左右します。夏や秋よりも冬の熱の出入りがはるかに大きいので、高性能樹脂サッシは重要です。当社の採用する高性能樹脂サッシは、樹脂サッシと樹脂ガラスで夏の強い日差しや冬の冷気を遮断し、冬の断熱しやすくなる効果も期待。一年中快適な室内環境を創ります。



No.5
清潔な空気環境を
第一種熱交換換気システム

空気の結露と雑音を抑制し、効率的な換気を行うことができます。さらに、高性能フィルターで花粉やPM2.5も取り除き、家中常に新鮮な空気環境を行います。



■高水準の断熱性能に人気のプレミアムキッチンをプラス

「エネージュ LEGANTIA」は時を経ても色褪せない普遍的なデザインと、快適性・耐久性を重視した見えない品質を兼ね備え、「受け継がれる価値」を次世代へつなぐ邸宅です。毎日の快適さや光熱費の負担に大きく関わる断熱性能は、等級 7・HEAT20G3 グレードの UA 値 0.25 で、住宅業界トップクラスの水準を誇ります。また、家で過ごすことの充実感を高めるキッチンは、メーカー4 社が誇るプレミアムグレードの中から理想の1台を選んでいただくことが可能。「使いやすさ」と「美しさ」を兼ね備えたキッチンが、暮らしをより快適に豊かに彩ります。

(商品詳細はこちら: https://www.yamatojk.co.jp/event/ene_ju_legantia)

■住み継がれる住まい実現のために

LEGANTIA は内外ダブル断熱・屋根断熱・基礎断熱×高性能樹脂サッシ(トリプルガラス)の採用で、ヤマト住建が誇る夏冬の外気の影響を大きく低減する高い断熱性能を実現します。気密性能を表す C 値も 0.5 以下を保証。全

棟気密測定を実施し、2024 年度の平均 C 値 0.29 を実現した高気密施工で、年間を通して快適かつ省エネな暮らしを支えます。さらに真壁工法とオール金物工法を標準とし、日本に多い繰り返す地震にも耐える強靱な骨組みを確保。制振ダンパーを備え、地震エネルギーを吸収して住まいの損傷を軽減することで住み続けられる家を実現。将来のメンテナンス性にも配慮し、住まいの寿命を伸ばす工夫を標準化することで“住み継がれる住まい”を形にします。

<会社概要>

企業名：ヤマト住建株式会社(URL: <https://www.yamatojk.co.jp/>)

代表者：代表取締役 河本佳樹

所在地：〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通 5 丁目 1 番 14 号
神戸商工貿易センタービル 18 階

設立：1987 年 11 月